（別紙3）

公表　事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスねいろの森			
○保護者評価実施期間	2026年　3月　20日	～	2026年　4月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	13
○従業者評価実施期間	2026年　3月　20日	～	2026年　4月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　4月　27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様にとっての最善の利益を第一に寄り添った支援をしている	始業、終業のミーティングなどで確認し、 取り組み方の共有をして対応の一本化を行っている	定期的なイベント、企画をし、よりお子様と保護者様が楽しめるような 場所にしていく
2	SNSなどを活用し、行事の様子や参加したお子様の様子を発信している	nstagramやyoutubeを活用し、保護者様に活動内容を共有してい	継続していき、見ていない方へも 興味を持っていただくように働きかける
3	保護者様からのご要望があったときには迅速に対応し、短期間での改善をしている	迅速な情報共有と課題解決に向けた話し合いを細かくしている	継続していき、些細なことも見逃さないようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流に乏しい	地域で開催されているイベントなどに参加していく	地域への関心を高めていく
2			
3			

（別紙4）

公表　からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスねいろの森

公表日 年月日

利用児童数 16　　回収数 13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思	12	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか	13					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支	12			1	・子どもの事を本当によくわかってくれていた。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	13					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に	13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの	11	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま	13					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機	2	1	2	8		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	13					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ	12			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング	8	2	1	2	・日々の連絡帳などのやりとりで子どもの情報がよくわかった。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1		2		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				・息子からしたら第二の家族のような共感や安心を頂いた。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	10	1	1	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	12			1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	12			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュ	10	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	10	1		2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等	11			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や	11	1	1			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				・子どもが家出をしたときに向かったのがねいろ。安心がそこにあっての行動。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29	事業所の支援に満足していますか。	13					

（別紙5）

公表　における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスねいろの森

公表日　　年　月　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		・子どもたちが大きくなってきたことや、人数が多い時は狭いと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	5	3		・人手不足に感じるときがある。現在は良くても今後が…。 ・もう少し従業員に余裕があってもいい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい	5	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等	8			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ	6	2	・標準化されたツールはない。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・朝礼での簡単なミーティングを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・担当者を日替わりにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	8		・シフトで後から出勤するスタッフにも必ず口頭で伝えてくれている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	8		・終礼での報連相にて共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、	6	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	2	・研修への参加等を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		

	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ	8		・イベント時の家族参加(招待)を行っている。 ・クリスマス会がいい機会になっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することに	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応	8		・現在在籍はないが、契約時に確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	8			

等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	8			
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催	8			
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に	8			